

講義科目名称： 小児看護学概論

授業コード： 53204000

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
小島 賢子			
月3			
添付ファイル			

科目の概要	子ども観の変遷や小児医療・小児看護の歴史、子ども観の変遷や子どもの権利を概観を概説し、子どもがおかれている社会状況における課題について講義する。小児各期の成長発達過程や代表的な発達理論、子どもの安全に対する支援のあり方、および、健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響を教授し、子どもと家族に必要な支援を考える上での基礎的知識を学ぶことを目的とする
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス（授業の進め方） 小児看護の対象・目的・目標・役割について講義するシラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 子どもとは（子ども観の変遷）、子どもの権利について講義する 子どものイメージを自分なりの表現をして講義に臨むこと</p> <p>第3回 小児看護で用いられる理論、発達の原則について講義する 教科書のピアジェ及びエリクソンの発達理論について該当するページを読んでくること。</p> <p>第4回 新生児期・乳児期の成長と発達（反射・運動の発達・発語・感覚）について講義する 新生児期・乳児期の反射と運動の発達についてまとめておくこと</p> <p>第5回 幼児期の成長と発達（身体的・機能的・認知・言語・遊び）について講義する 幼児期の子どもの遊びについて事前に調べておくこと</p> <p>第6回 学童期・思春期の成長と発達（身体的・機能的・日常生活習慣）について講義する 学童期の社会生活である学校における問題点を書き出しておくこと（教科書を参考にすること）</p> <p>第7回 子どものセルフケアの自立に応じた安全への支援について講義する 子どもの発達に応じた安全や事故防止への取り組みについて調べておくこと</p> <p>第8回 まとめと小児看護における倫理について講義する</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児医療における子どもの権利に関する課題を考えることができる。</li> <li>2. 小児看護で用いられる発達理論について理解することができる</li> <li>3. 小児各期の成長発達の特性、発達課題を理解することができる。</li> <li>4. 小児各期におけるセルフケアの自立に応じた安全への支援について理解することができる</li> </ol>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義形式 視聴覚教材(DVD)の視聴</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 短時間のディスカッションや発表を行う</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <p>【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 【割合】</p> <p>定期試験80% レポート・課題20%</p>
教科書・テキスト	ナーシンググラフィカ小児看護学① 小児の発達と看護
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	基本的にはテキスト該当ページの予習を心がけてください。
履修上の留意事項	遅刻した場合は、チェック用紙に記入し着席するようにして下さい。
オフィスアワー	月曜日 午前中 必ずメールで時間の確認をお願いします。
課題に対するフィードバックの方法	課題レポートについて、確認し返却をします。
実務経験	看護師
その他	